

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(仮称)九品寺プロジェクト 新築工事	階数	地上10F		けしてください。
建設地	熊本県熊本市中央区九品寺1丁目1	構造	RC造		
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	223 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	病院,集合住宅,工場,等	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2015年12月14日		
敷地面積	1,437 m ²	作成者	宮本 晴香		
建築面積	1,066 m ²	確認日	2015年12月15日		
延床面積	5,913 m ²	確認者	堂園 健寿		

1 CASBEE評価結果																																				
■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)																																				
★★★★★		BEE = 0.9	■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																	
		■ 環境効率評価基準																																		
		<table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table>			ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—
ランク	ランク表示	評価	判定値																																	
			BEE値	Q値																																
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																
C	★	劣る	0.5未満	—																																
		■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能評価基準																																		
		<table><tr><th>判定値 (排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>			判定値 (排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆																				
判定値 (排出率)	ランク表示																																			
30%以下	☆☆☆☆☆																																			
30%超60%以下	☆☆☆☆																																			
60%超80%以下	☆☆☆																																			
80%超100%以下	☆☆																																			
100%超	☆																																			
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能 (ランク表示)		排出率																																		
☆☆☆☆☆		78%																																		

2 熊本県重点評価結果

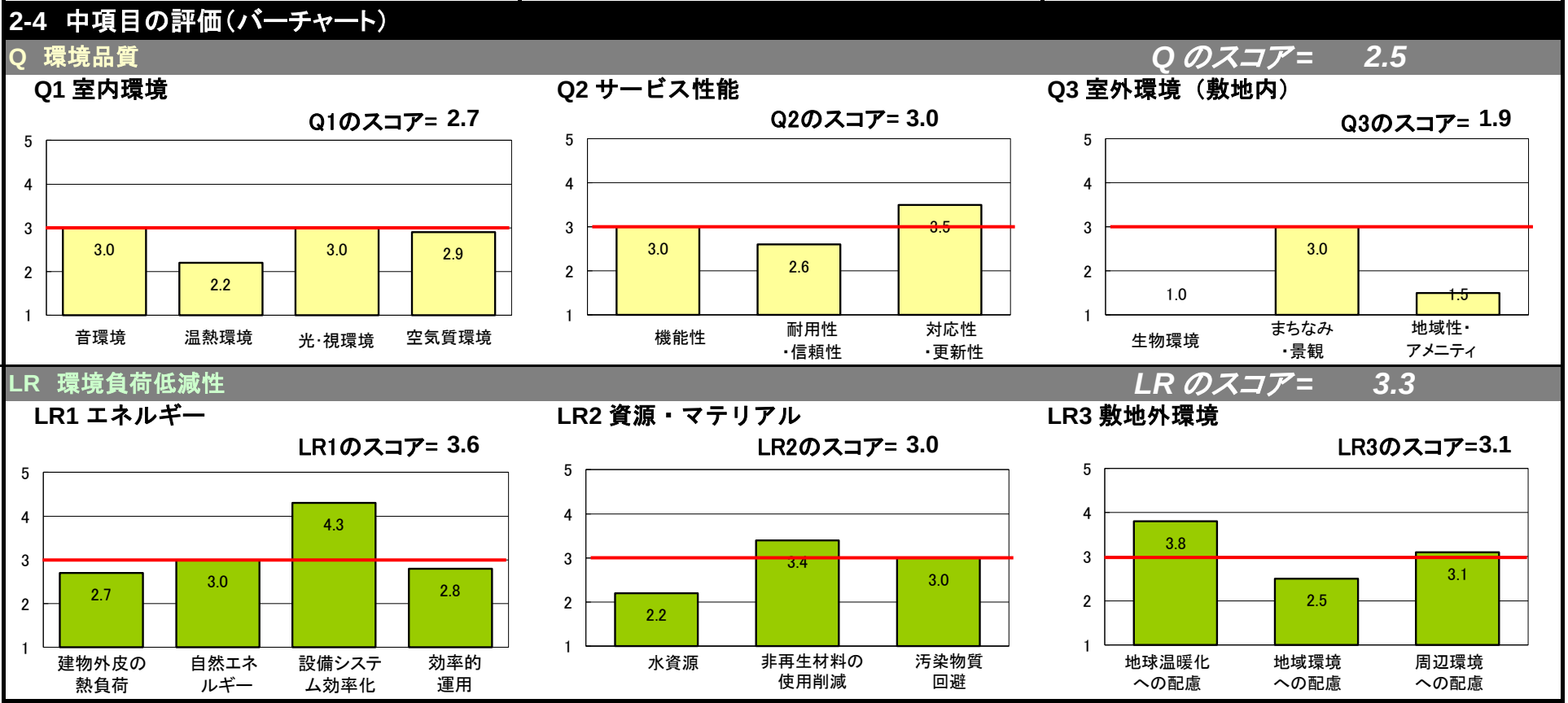
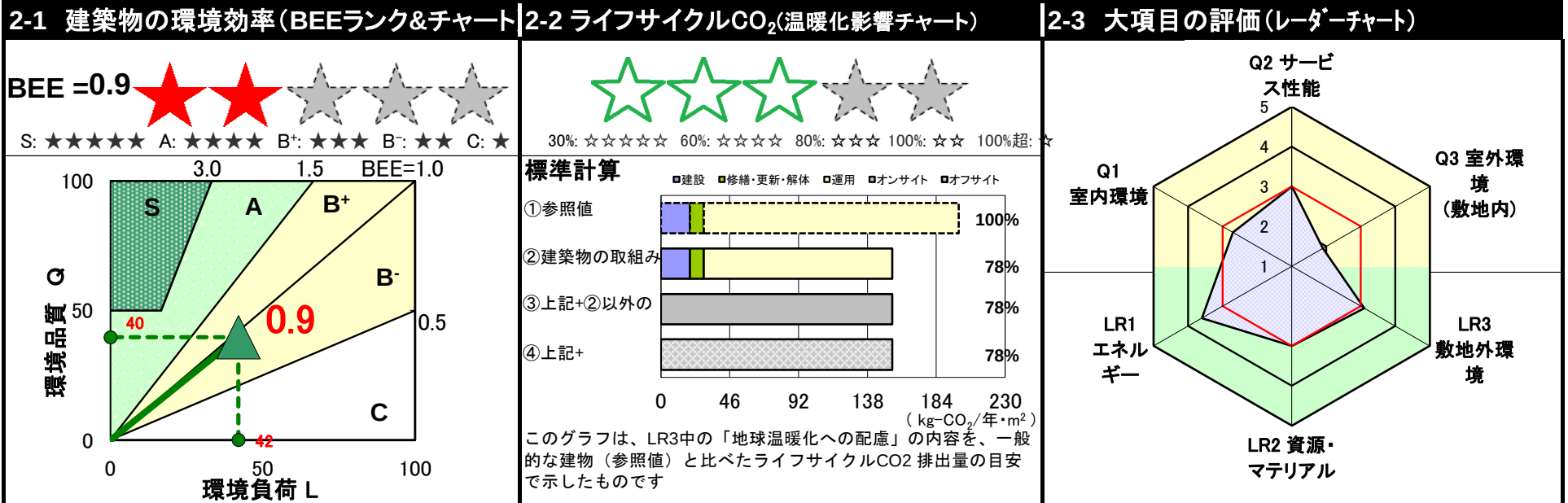
重点事項総合評価

CASBEE®熊本《新築》

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)九品寺プロジェクト 新築工事	階数	地上10F		
建設地	熊本県熊本市中央区九品寺1丁目1	構造	RC造		
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	223 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	病院,集合住宅,工場,等	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2015年12月14日		
敷地面積	1,437 m ²	作成者	宮本 晴香		
建築面積	1,066 m ²	確認日	2015年12月15日		
延床面積	5,913 m ²	確認者	堂園 健寿		



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版 (仮称)九品寺プロジェクト 新築工事			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)					
スコアシート 実施設計段階										
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
					評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									2.5	
Q1 室内環境						0.38		-	2.7	
1 音環境					3.0	0.15	3.1	1.00	3.0	
1.1 騒音			Lr-45		3.0	0.47	3.0	0.50		
1.2 遮音					3.0	0.47	3.2	0.50		
1					開口部遮音性能	3.0	0.88	3.0		0.30
2					界壁遮音性能	3.0	0.12	3.0		0.30
3					界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	-	4.0		0.20
4					界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	3.0		0.20
1.3 吸音					3.0	0.05	-	-		
2 温熱環境					2.5	0.35	2.0	1.00	2.2	
2.1 室温制御					2.8	0.50	3.0	0.50		
1					室温	3.0	0.56	3.0		0.62
2					外皮性能	3.0	0.34	3.0		0.38
3					ゾーン別制御性	1.0	0.10			-
2.2 湿度制御					1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式					3.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境					2.7	0.25	3.2	1.00	3.0	
3.1 昼光利用			病院(待合室):3.95、住宅:2.85		4.1	0.30	3.4	0.50		
1					昼光率	5.0	0.60	5.0		0.51
2					方位別開口		-	1.0		0.27
3					昼光利用設備	3.0	0.40	3.0		0.22
3.2 グレア対策					1.0	0.30	3.0	0.50		
1					昼光制御	1.0	1.00	3.0		1.00
3.3 照度					3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境					2.9	0.25	3.0	1.00	2.9	
4.1 発生源対策					3.0	0.57	3.0	0.63		
1					化学汚染物質	3.0	1.00	3.0		1.00
2					アスベスト対策		-			-
4.2 換気					3.0	0.37	3.0	0.38		
1					換気量	3.0	0.50	3.0		0.33
2					自然換気性能	-	-	3.0		0.33
3					取り入れ外気への配慮	3.0	0.50	3.0		0.33
4.3 運用管理					2.3	0.05		-		
1					CO ₂ の監視	1.0	0.33			-
2			喫煙の制御	3.0	0.67		-			
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.0	
1 機能性					3.2	0.40	2.8	1.00	3.0	
1.1 機能性・使いやすさ			住居天井高:2.6m 33.74×0.03=1.0122 待合室有り		3.0	0.40	3.0	0.60		
1					広さ・収納性		-			-
2					高度情報通信設備対応		-	3.0		1.00
3					バリアフリー計画	3.0	1.00			-
1.2 心理性・快適性					2.9	0.30	2.5	0.40		
1					広さ感・景観	1.0	0.06	4.0		0.50
2					リフレッシュスペース	4.0	0.06			-
3					内装計画	3.0	0.89	1.0		0.50
1.3 維持管理					4.0	0.30		-		
1			維持管理に配慮した設計	4.0	0.50		-			
2			維持管理用機能の確保	4.0	0.50		-			
3			衛生管理業務		-		-			
2 耐用性・信頼性					2.6	0.30		-	2.6	
2.1 耐震・免震					3.0	0.50		-		
1					耐震性	3.0	0.80			-
2					免震・制振性能	3.0	0.20			-
2.2 部品・部材の耐用年数					2.6	0.30		-		
1					躯体材料の耐用年数	3.0	0.20			-
2					外壁仕上げ材の補修必要間隔	2.0	0.20			-
3					主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.0	0.10			-
4					空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.10			-
5					空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.20			-
6			主要設備機器の更新必要間隔	2.0	0.20		-			

	2.4 信頼性			2.0	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.1	0.30	3.8	1.00	3.5
	3.1 空間のゆとり			3.4	0.08	4.6	0.50	
	1	階高のゆとり	物販店階高:3.8m、住居部分階高:3m	3.0	0.60	5.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	病院、物販:143.85÷624.01=0.2、駐車場:0.2 住居:(65.8+36.4)÷ 病院床荷重:4500N/㎡	4.0	0.40	4.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			5.0	0.08	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.84	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.32	-	-	1.9
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				1.5	0.30	-	-	1.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				—	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制				2.7	0.17	-	-	2.7
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.76 住宅(専有部) 0.98	4.3	0.52	-	-	4.3
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		LED照明の採用	4.0	0.26	-	-	
	集合住宅の評価(3c)		LED照明の採用	4.4	0.74	-	-	
4 効率的運用				2.8	0.21	-	-	2.8
	集合住宅以外の評価			2.5	0.26	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	0.74	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.60	-	-	3.4
	2.1 材料使用量の削減		— 再生加熱アスファルト混合物:外構舗装、パーティクルボード、住戸	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			5.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			乾式二重床、GL工法	4.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
	LR3 敷地外環境				—	0.30	-	
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物(参照値)と同等	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	3	交通負荷抑制		5.0	0.33	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		照度、輝度を与える範囲の適正な設定を行う	3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		4.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。

- ・建物ボリュームを隣地境界線よりセットバックした計画とし、周辺への圧迫感の軽減や通風・採光に配慮した計画とした。

Q1 室内環境

注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

- ・住戸の界壁・界床は、遮音性能に配慮した計画した。
- ・積極的に自然光を取り入れる計画とした。

Q2 サービス性能

注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

- ・十分な階高を確保し、空間にゆとりのある計画とした。

Q3 室外環境（敷地内）

注) 「Q3 室外環境（敷地内）」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

- ・前面道路に沿って植栽帯を計画し、潤いのあるまちなみの景観となるよう配慮した。
- ・道路境界に沿って夜間照明を設置し、防犯性に配慮した計画とした。

LR1 エネルギー

注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

- ・LED照明器具を採用し、使用エネルギーの削減に配慮した計画とした。

LR2 資源・マテリアル

注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

- ・躯体と仕上材が容易に分別可能となっており、解体の際のリサイクル性に配慮した。

LR3 敷地外環境

注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

- ・適切な量の駐車場、駐輪場を確保し、十分な幅の駐車場への進入路を確保することにより、周辺への交通負荷を軽減する計画とした。

その他

注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)九品寺プロジェクト 新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		72
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				85	0.40	34.00
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.06			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.06			
Q1-3.2.1	昼光制御	2.1	0.06			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	2.7	0.13			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.3	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				56.2	0.20	11.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	1.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				52.5	0.20	10.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	1.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				83.2	0.20	16.64
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.6	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.5	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	5.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数